

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

日本鑄造株式会社 福山製造所

#### (2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

#### (3) 業種

銑鉄鑄物製造業(鑄鉄管、可鍛鑄鉄を除く)(2351)

#### (4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成30年度から令和4年度までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

日本鑄造株式会社 環境目標「培った技術により環境負荷の低減を目指し、事業活動を継続する」  
重点活動課題 ・CO2削減(事業者クラス分け評価制度Sクラスの維持)  
・産業廃棄物削減(スラグ、レンガくずの再利用)・油発生件数0件・環境教育の実施。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( 19 ) 年度	令和 ( 3 ) 年度
二酸化炭素	7,790	7,120

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (19 ) 年度)		削減目標		目標年度 (令和 (4 ) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	7,790	3.0	230	7,560	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				0	
メタン				0	
一酸化二窒素				0	
その他 温室効果ガス				0	
温室効果ガス 実排出量総計	7,790	3.0	230	7,560	
温室効果ガス みなし排出量	7,790	-	230	7,560	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は排出量年1.0%の削減率。電気は中国電力(株)の実排出係数を使用。				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100    削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

溶銑 t

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位数 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (19 ) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (4 ) 年度)		
	排出量 (a)	原単位数 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	7,790	34,090	0.23	-447.8	7,560	5,993	1.26
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	7,790	34,090	0.23	-447.8	7,560	5,993	1.26
エネルギー消費原単位 (原油換算 k 1)	3,673	34,090	0.11	-163.6	2,849	9,872	0.29
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100    原単位 (c) = (a) / (b)    原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	○冷房温度・暖房温度を事務所・詰所において管理。○休憩時、休日停止時不要時停止。生産に直接・間接に付帯する設備作業終了後の停止。効率の高いランプ(LED)へ更新。○受電機器設備計測・記録管理。○電気炉熱効率管理。○パソコン不要時の適宜電源管理。
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制

別紙 日本鑄造株式会社 福山製造所 エネルギー管理組織図

### (2) 実施状況の点検・評価

福山製造所の安全環境防災管理委員会において、定期時に温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検および問題点の検討を行い、環境監査において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上をはかる。

### (3) 計画書等の公表

製造所内で閲覧する。

日本鑄造(株)福山製造所 エネルギー管理組織図

<環境管理組織>

<環境管理に関する評価、審議機関>

安全環境防災管理委員会幹事会  
※幹事会メンバー  
・製造所長  
・工場長  
・事務局  
・設備担当スタッフ(\*)  
・安全担当スタッフ  
・購買総務室

(\*)エネルギー管理士  
安全環境防災管理委員会  
※委員会メンバー  
・製造所長  
・工場長  
・事務局  
・設備担当スタッフ(\*)  
・安全担当スタッフ  
・業務グループ  
・鑄鉄グループ  
・マイティバーグループ  
・溶解班作業長  
・造型班作業長  
・仕上班作業長  
・切断亜鉛作業長  
・設備班作業長

製造所長

工場長

事務局

・エネルギー管理者

・業務グループ  
・鑄鉄グループ  
・マイティバーグループ  
・溶解班  
・造型班  
・仕上班  
・切断・亜鉛班  
・設備班